

平成 25 年度事業方針

テーマ「市民による文化発信」

市制から 1 年以上が経過し、長久手市行政は「日本一の福祉のまち」を掲げて、地域コミュニティ形成のため市民と行政による協働を推進しています。開館 15 周年を迎える文化の家の在り方についても「市民が気軽に来られる場所」「使いやすさ」などが求められています。これらを踏まえ、平成 25 年度事業は、住民が主体となって文化の家で交流し、モノづくりをする事業に力を注ぎ、まちづくり全体に波及するしくみを目指していきます。

(1) 住民参画交流事業

- ・ 住民ワークショップ： 市民が語り交流する場（ゲスト：coba、館野泉等を予定）
- ・ アイデンカフェ： 市民が企画する場（公演、ビューッフェ活用、広報など）
- ・ 舞台見学会： 文化の家を知り体験する場（舞台機構、世界の 2 大ピアノ聴き比べ等）
- ・ 鑑賞モニター： 自主事業についての意見交換

文化の家を市民の交流の場に。これまで以上に市民と行政が協働でモノづくりをします。市民が文化の家をまちづくりの発信基地として、交流、ワークショップ、企画などさまざまな形で活動ができる場とし、文化の家は全面的にこれらをサポートします（目安：3 年計画）。

(2) 長久手応援ソング普及

市民による「長久手応援ソング広め隊」が結成されており、これらの普及をサポートします。6 月の coba 公演では、新しく振付が発表される予定。

(3) 広報セクション立ち上げ

- ・ ブログ、ツイッター、フェイスブックの運営
- ・ ホームページのリニューアルと更新の充実
- ・ PR 映像の作成（文化の家と市民の交流や協働の記録）
- ・ 市民による広報発信（住民ワークショップ、アイデンカフェなど）
- ・ 役所、教育委員会、議会、自治会、学校等への継続的な情報提供やモニター

1 月よりブログを開設し訪問者 2000 人以上、2 月よりツイッターのフォロワーは 892 人、フェイスブックの訪問者は投稿一件につき 400~600 人。ホームページは秋をめどにリニューアルを計画。その他、市民による広報発信も視野に入れて、幅広くかつ効率的な広報戦略を目指します。

(4) 学校との連携強化

- ・ であーと（小・中）、おいであーと（保育）、小学校招待公演（新規）、小学校巡回指導、第 10 回吹奏楽フェス（中・高・大・一般）

学校連携事業では、子どもたちと地元アーティストとの身近な交流を継続しています。

(5) 地域連携事業

- ・ ジョイントフェスティバル（演劇・音楽・海外招聘事業を県内 4 館共同で行うイベント）
 - 7/19（金）ウィンドウ（演劇・海外招聘）
 - 7/27（土）朗読コンサート「赤ヴァイオリンちゃん」
 - 8/17（土）朗読「父と暮らせば」（劇座）
 - 8/24（土）劇団うりんこ「アリス」
- ・ 地域創造助成事業（全国 7 館共同による子ども向け演劇イベント）
 - 11/9（土）「長靴をはいた猫」